issa

2019/20

年次報告

世界社会保障
フォーラム

変わりゆく世界の中で人々を守る

使命

ISSA

世界規模で社会保障を推進

国際社会保障協会（ISSA）は、社会保障機関や政府部門を繋ぐ世界有数の国際機関です。

ISSA は、優れた社会保障運営支援センターの一環として、専門的なガイドラインと能力構築を世界中の ISSA 加盟機関に提供し、社会保障の重要課題に対する革新的解決方法の提案、さらに独自の国際データの共有を行い、ハイレベルな地域・国際イベントも開催し、優れた社会保障を推進しています。

世界中の ISSA 加盟機関のダイナミックな社会保障制度や政策の展開をサポートする ISSA は、国際労働機関（ILO）の支援を受けて 1927 年に設立されました。

2019/20

issa 年次報告

ISSA 事務局
Route des Morillons 4 – Case postale 1
CH-1211 Geneva 22
T: +41 22 799 66 17 – F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

グラフィックデザインと製作
アトリエ・シュネッグ、イヴ・ポルティネ

印刷：スイス

写真：ISSA

© International Social Security Association, 2020

03
インタビュー
会員に近寄る
事務総長
マルセロ・アビハミア・カエタノ

05
特集
世界社会保障フォーラム

07
卓越した功績賞
ルワンダにおける国民皆保険の実現

13
ISSA 技術委員会
ナレッジとツールの向上

14
ISSA の新ガイドライン
社会保障制度におけるエラー、
回避、不正

18
ISSA 認証
信頼の確立

20
ISSA のこれからの 3 年間
2020-2022 年の優先項目

ISSA 会長
ヨアヒム・ブロイアー
教授・博士

会長からのメッセージ

より強力な ISSA の構築

国際社会保障協会（ISSA）はこの 1 年間で、世界中の会員を拡大・強化し、国際パートナーと連携を取り、グローバルステージでの影響力を高めてまいりました。これによって 2030 年に向けて普遍的社会的保護を促進する上で私たち全員が強化されます。

当協会は社会保障機関の唯一のグローバルコミュニティとして独自の役割を果たしています。私たちの役割は社会保障の実施と提供における質と効率性の充実を求め、社会保障の未来を形作るために必要な手段を講じ、優れた社会保障を推進することです。世界 159 か国に存在する ISSA の会員は、既に日々 30 億人に社会保障を提供しています。これは驚くべき成果ですが、私たちはより高い志を持っています。普遍的社会的保護を目指す国際パートナシップのメンバーとして、そして G20 労働雇用大臣会合の準会員として、ISSA は持続可能な開発目標に沿いながら 2030 年までの普遍的社会的保護実現に貢献したいと考えています。

どのように社会保障適用を維持し拡大するかは 2019 年 10 月、ブリュッセル（ベルギー）で開催された世界社会保障フォーラム（WSSF）における重点分野の一つでした。その中でもとりわけ、大臣や国際機関の幹部が参加したサミットは、社会保障の拡大と強化が国内外の意思決定者にとって重要な課題となっていることを明らかにしました。普遍的社会的保護の特別セッションが、ISSA の長年のパートナーであり創立 100 周年を迎えた国際労働機関（ILO）と共同で開催されました。

この数か月の間、新型コロナウイルス（COVID-19）がもたらす課題によって、社会保障が個人、社会、経済にとって必要不可欠であることが改めて示されました。政府及び社会保障機関は、病に伏した者や介護者、失業者、社会的弱者のための社会保障施策及び制度を速やかに強化、調整、革新及び導入し、ダイナミックな社会保障に専念する姿勢を見せてきました。

「ISSA は
社会保障機関の声を
必ず世界に届けます。」

私は ISSA の会長であることを誇りに思います。ブリュッセルで開催された WSSF において新たな 3 年の任期で再選いただいたことに謹んでお礼を申し上げます。私の目標は世界の人々に対する社会保障の提供を充実させるために ISSA を成長させ続けることです。■

事務総長インタビュー

会員に近寄る

マルセロ・アビハミア・カエタノ

就任から一年半が経った今、マルセロ・アビハミア・カエタノ氏は多くの重要局面に立ち会ってきました。彼が最も伝えたいことは、ISSA が強靭なコミュニティであるということです。彼は協会が会員にさらに近寄ることを最優先に考えています。

ジュネーブで開催された第 13 回 ISSA 技術委員会フォーラムにてメンバーと談笑するマルセロ・カエタノ氏

昨年はどのような重要な出来事がありましたか。

この 18 か月の間、ベルギーの世界社会保障フォーラムやアゼルバイジャンでのヨーロッパ地域社会保障フォーラムなど、幾多の思い出があります。会員が抱える課題や ISSA がどのようにサポートできるかを探るために訪れた会員との非常に貴重な出会いや議論する機会も得られました。この数か月、コロナ禍に対する速やかな社会保障対策のため、会員及び ISSA スタッフと共に取り組んできたことは非常に重要でした。

会員とのミーティングや議論を通じて何が得られましたか。

非常に印象的だったのは私共の協会に対する非常に多くの会員の積極的かつ献身的な姿勢です。ISSA は国内外の社会保障推進のために一致団結して活動するリーダーと専門家から成る真のグローバルコミュニティです。これを土台にし、ISSA は高品質なサービスや製品を通して会員をサポートするためにさらに努力していかなければなりません。私たちは今年の早い時点から迅速に ISSA モニター「コロナウイルス - 社会保障施策」を立ち上げ、世界中の政府及び社会保障機関に

よって実施されている幅広い種類と分野の措置についての情報や分析を割り出し、共有しています。これは私たちが国際的なプラットフォームを通じていかに効果的に協働できるかの一例です。

会員から提案された重要な優先課題には、どのようなものがありますか。
会員にとって優先的な項目は対象リスクやその他の要因などを含め、地域によって異なります。同時に、会員の間で共通する項目もあります。例えば、高まる国民の期待や技術の変化が、会員の社会保障管理能力の向上を後押ししています。もうひとつのポイントは、変わりゆく労働市場が社会保障機関の国際的な目標に沿った社会的保護を拡大し維持する取組に影響を与えているということです。さらに、今日では社会の高齢化は社会保障にとって世界的な重要課題です。最期に、会員は拡大していく格差に配慮しつつ、包括的成長に向けた社会保障の積極的な役割の強化に熱心に取り組んでいます。

写真上：スイス連邦社会保険庁とのミーティング

写真下：第 118 回 ISSA 役員会のメンバー

ISSA は社会保障の課題や機会について新たなナレッジを打ち出すために、どのような取組を行っていきますか。
会員の意見を聴取した上で、私たちは、今申し上げた 4 つの課題を 2020 年から 2022 年の 3 年間の重要課題として位置づけました。私たちは技術委員会及び地域組織と連携して、出版物を作成し、イベントを企画し、これらの分野に関連した経験の共有を促します。私たちは ISSA の活動が会員にとって可能な限り関連のあるものになるよう、各地域や支部のニーズに合わせて各課題を具体化する必要があります。私たちは、今年のコロナ禍の時と同様に、世界的又は地域的な出来事が対応を要する場合には、速やかな対応を取り続けます。

新しい事業期に ISSA に期待できることは何でしょうか。
私たちは今回もさまざまな興味深い活動を予定しています。いくつかの斬新なものに会員も興味を持ってくれるでしょう。これには新しい ISSA ガイドラインのセット、社会保障管理に重点を置いた新しい国際カンファレンス、さらに ISSA カントリープロファイルの拡充も含まれています。私たちはさらに、サービスの対応速度や柔軟性も強化していきたいと思っています。会員の実践的なニーズに沿った製品を作る能力を高め、すべての会員が ISSA と交流した際には優れたサービスを経験することを確実にすることが私の目標です。

世界社会保障フォーラム

変わりゆく世界の中で人々を守る

「変わりゆく世界の中で人々を守る」というテーマの下、世界社会保障フォーラム（WSSF）は、めまぐるしく変わる世界における個人と社会のための社会保障の重要性を力強く示しました。

1,300 人の参加者

400 の機関

150 か国

主催：ベルギーの公的社会保障機関

2019 年 10 月 14 日から 18 日の日程で、社会保障のリーダーと専門家から成るグローバルコミュニティが世界社会保障フォーラムのためにベルギーの首都ブリュッセルに集いました。150 を超える国の 400 の組織から登録した 1,300 人が参加し、過去最大規模の ISSA イベントとなりました。

今回の第 5 回世界社会保障フォーラムは、ISSA と主催者であるベルギーの公的社会保障機関の素晴らしい連携、さらに世界中の ISSA 会員とパートナーからの多大な貢献のおかげで成功裏に終わりました。

各日のハイライトは次ページでご覧ください。

WSSF ハイライト

10 月 14 日（月）

社会保障の課題と革新的対応

- ベルギーの社会保障制度 75 周年を記念し、ベルギーの主催者は、社会保障給付やサービスを提供するための近代的で柔軟性のあるデジタルなアプローチを紹介しました。
- ISSA 会員の革新的な解決方法や実践に焦点をあてた 3 か年プロジェクトの最終レポート『世界の社会保障が直面する 10 の課題』を発表。

10 月 15 日（火）

社会保障の未来を形作る

- ISSA は、最先端デジタル技術が社会保障へ及ぼす影響及びその活用という主要トレンドを取り上げた『デジタル時代における社会保障』レポートを新たに発表しました。
- デジタル革命から派生する課題への対応や機会の活かし方についての議論が行われました。

10 月 16 日（水）

社会保障の優れた運営と革新

- 新しい『社会保障制度におけるエラー、回避、不正に関する ISSA ガイドライン』とその他 8 つのガイドラインの改訂版が発表され、パラレルセッションで議論されました。
- イノベーションゾーンは ISSA 会員による革新的なツールや取組を紹介しました。

10 月 17 日（木）

社会保障の社会的影響の強化

- ISSA の長年のパートナーである国際労働機関（ILO）の創立 100 周年を記念して、2030 年までに普遍的社会的保護の実現を目指す特別セッションが開催されました。
- 社会の大変革に照らして、社会保障をどのように構築、強化、進化及び調整していくかが本会議及びパラレルセッションで議論されました。

10 月 18 日（金）

誰一人取り残さない－世界的な取組の実現

- アルジェリア、ベルギー、中国、ジャマイカ、リトアニア、マレーシア、ロシア連邦、欧州委員会、ILO、国連及び世界銀行から参加した大臣や幹部から成る世界社会保障サミットでハイレベルな議論が行われました。
- 20 年足らずで概ね国民皆保険を達成したルワンダ政府は ISSA より社会保障における卓越した功績賞を受賞しました。

世界社会保障フォーラム

卓越した功績賞

ルワンダ政府は世界社会保障フォーラムで ISSA より社会保障における卓越した功績賞を受賞しました。地域に密着したアプローチでルワンダは 20 年足らずで国民皆保険を概ね達成しました。ルワンダ社会保障局の事務局次長、ソランジュ・ハキバ博士とのインタビューです。

「ルワンダができたなら、どの国もできるでしょう！」

— ルワンダ社会保障局の事務局次長、ソランジュ・ハキバ博士

ISSA 社会保障における卓越した功績賞を受賞した意義は何ですか。

地域型の健康保険制度の功績がこのような形で ISSA に認められるのは、ルワンダ政府にとって大きな励みになります。この受賞は、健康を最優先するのは正しいということ、そして献身とステークホルダーの努力があれば結果と影響力が付いてくる、という重要なメッセージを全世界へ発信できます。ルワンダができたら、どの国もできるでしょう！

ISSA 功績賞に導いたルワンダの主な取組は何でしょう。

ルワンダは過去 25 年間、インフォーマルセクターを財政面と健康面の両面から効果的に適用するための社会保障の設計に努めてきました。国民の健康は早期から国の発展と社会的結束に欠かせない柱の一つと認識されていました。健康でいることは国民の権利です。すべてのリーダーとステークホルダーはこの視点から国民により多く、より良いものを提供するために取り組んでいます。

今後の課題と社会保障をより強化するためのルワンダの取組をお教えください。

インフォーマル経済を対象とした社会保障制度の設計と実施によって、国民を財政難又は健康被害から守るルワンダ政府の取組がより確実に提供できるようになりました。現在の課題は 16 歳未満に対する識別方法の作成、そして医療給付申請の電子化です。柔軟かつ具体的なコミュニケーションで意識向上を啓発し、手の届きにくい人たちとも向き合いたいです。

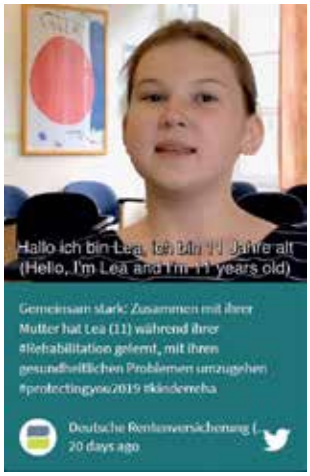
アフリカ大陸における社会保障の発展をどうご覧になりますか。

アフリカの国々は国民皆保険を主な優先項目の中心に据え、各地域の取組で計画は前進しています。デジタル時代のおかげでピアラーニングや経験の共有が加速し、地域での連携が社会保障ガイドラインとベストプラクティスの実施を支える専門知識を推進しています。受給者に対して一貫性と責任を持てば、アフリカの国々も素晴らしい発展を遂げるでしょう。 ■

世界社会保障フォーラム

#protectingyou2019

#protectingyou2019 キャンペーンは、WSSF の取組のひとつとして開始され、ISSA 会員及びパートナーに対し、変わりゆく世界の中で社会保障が人々を守っている例を共有するよう呼びかけました。ISSA とその加盟機関の相互コミュニケーションの調整と共同活動を充実させるため、ISSA コミュニケーション・ネットワークも新たに立ち上げられました。このキャンペーンで発表された力強いメッセージをご紹介します。 ■



コロナウイルス・モニター

社会保障でコロナ禍と戦う

2020 年上半期、社会保障は新型コロナウイルス（COVID-19）の流行による世界各国の社会的及び経済的影響の矢面に立たされました。ISSA は、加盟機関間でコロナウイルス問題への取組に関する情報及び経験を共有するため、社会保障施策に関する新しいウェビナーシリーズを含むコロナウイルス・モニターを立ち上げました。

わずか数週間で世界中に拡大したコロナウイルスの流行は、2020 年上半期、各国政府及び社会保障機関に前代未聞の重圧をもたらしました。ウイルスの感染拡大を防止するための経済封鎖やその他の措置は、社会的・経済的構造の混乱、大規模な解雇と景気後退を招きました。

政府は国民や企業、社会の社会的・経済的影響を緩和するため、すぐさま社会保障に目を向けました。社会保障機関はこれに対し、社会保険料の免除や猶予に加えて、強化された短期雇用及び部分的失業給付制度、疾病給付制度、自営業を対象とした社会保障、家族給付や児童給付などを通じて支援をお届けすることができました。

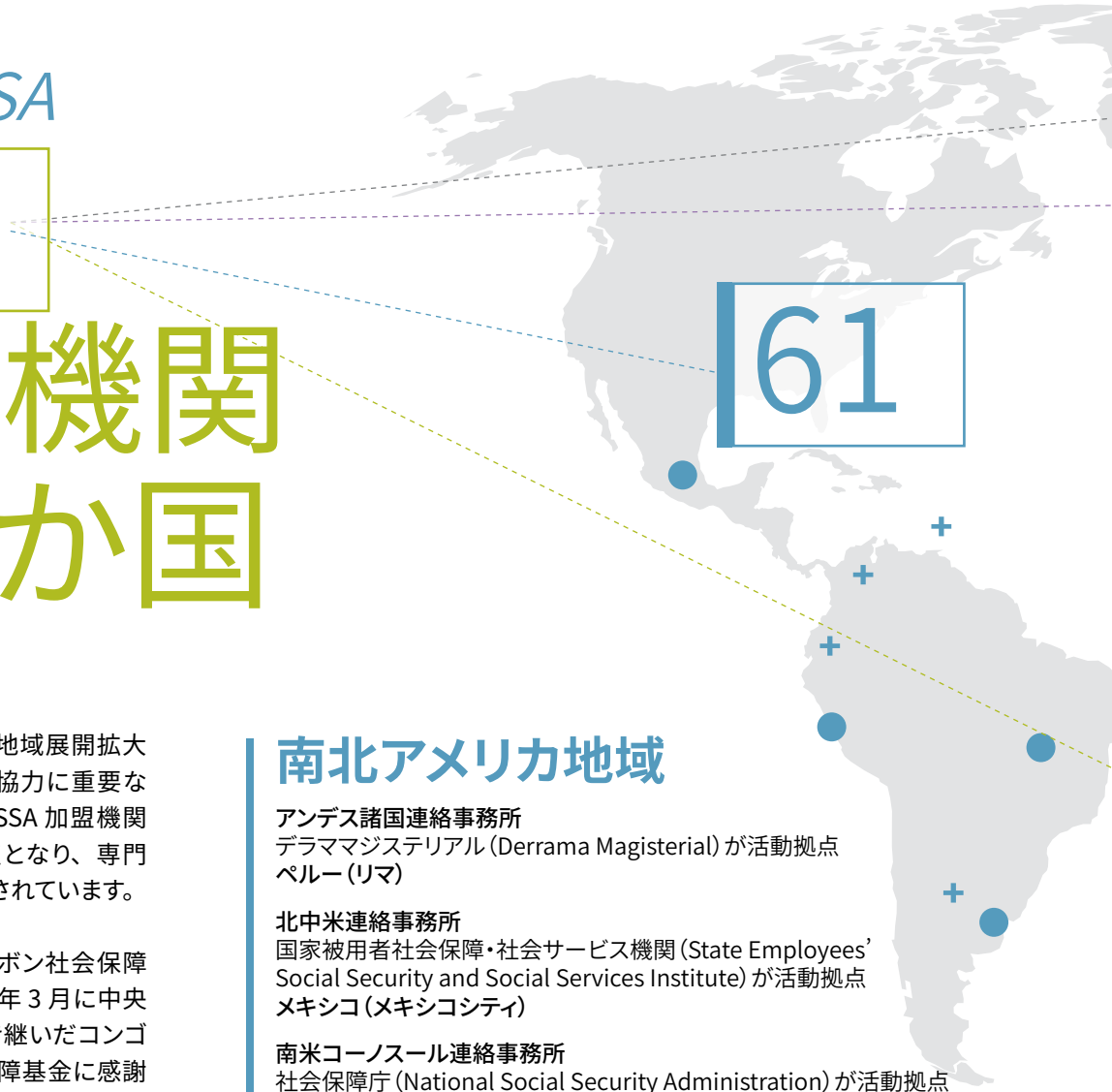
社会保障機関はこの困難な課題に見事に立ち向かってきました。社会保障給付申請が爆発的に増えていく中、制度の調整と新制度導入の取組が行われています。同時に、社会保障機関は、全体的なテレワークなどの働き方の再編成に迫られ、新しいオンラインサービスの拡充や立ち上げを含む受給者への対応方法を調整し、情報を求める多くの要求に対応する必要がありました。このことは、社会保障制度が社会の中で果たす重要な役割を改めて明らかにしました。■

コロナウイルスに対する社会保障施策

- ニュース及び分析を含む記事
- 各国の施策が検索可能なデータベース
- ニュース・モニター
- 英語、フランス語、スペイン語によるウェビナーシリーズ
- 外部のリンク及び情報源

世界の ISSA

321 加盟機関 159 か国



17 の地域組織が ISSA の地域展開拡大と社会保障に対する地域協力に重要な役割を果たしています。ISSA 加盟機関が各地域組織の活動拠点となり、専門の地域連絡担当者が配置されています。

ISSA はこの場を借りてガボン社会保障基金からの支援と、2020 年 3 月に中央アフリカ連絡事務所を引き継いだコンゴ民主共和国の全国社会保障基金に感謝を申し上げます。

さらに、2020 年 1 月に太平洋諸島国フォーカルポイントを正式にオープンしたフィジー国立共済基金、そしてポルトガル語諸国フォーカルポイント強化を行ったブラジルの国立社会保障院にお祝いを申し上げます。 ■

南北アメリカ地域

アンデス諸国連絡事務所
デラママジステリアル（Derrama Magisterial）が活動拠点
ペルー（リマ）

北中米連絡事務所
国家被用者社会保障・社会サービス機関（State Employees' Social Security and Social Services Institute）が活動拠点
メキシコ（メキシコシティ）

南米コーノスール連絡事務所
社会保障庁（National Social Security Administration）が活動拠点
アルゼンチン（ブエノスアイレス）

ポルトガル語諸国フォーカルポイント
国立社会保障院（National Social Security Administration）が活動拠点
ブラジル（ブラジリア）

アフリカ地域

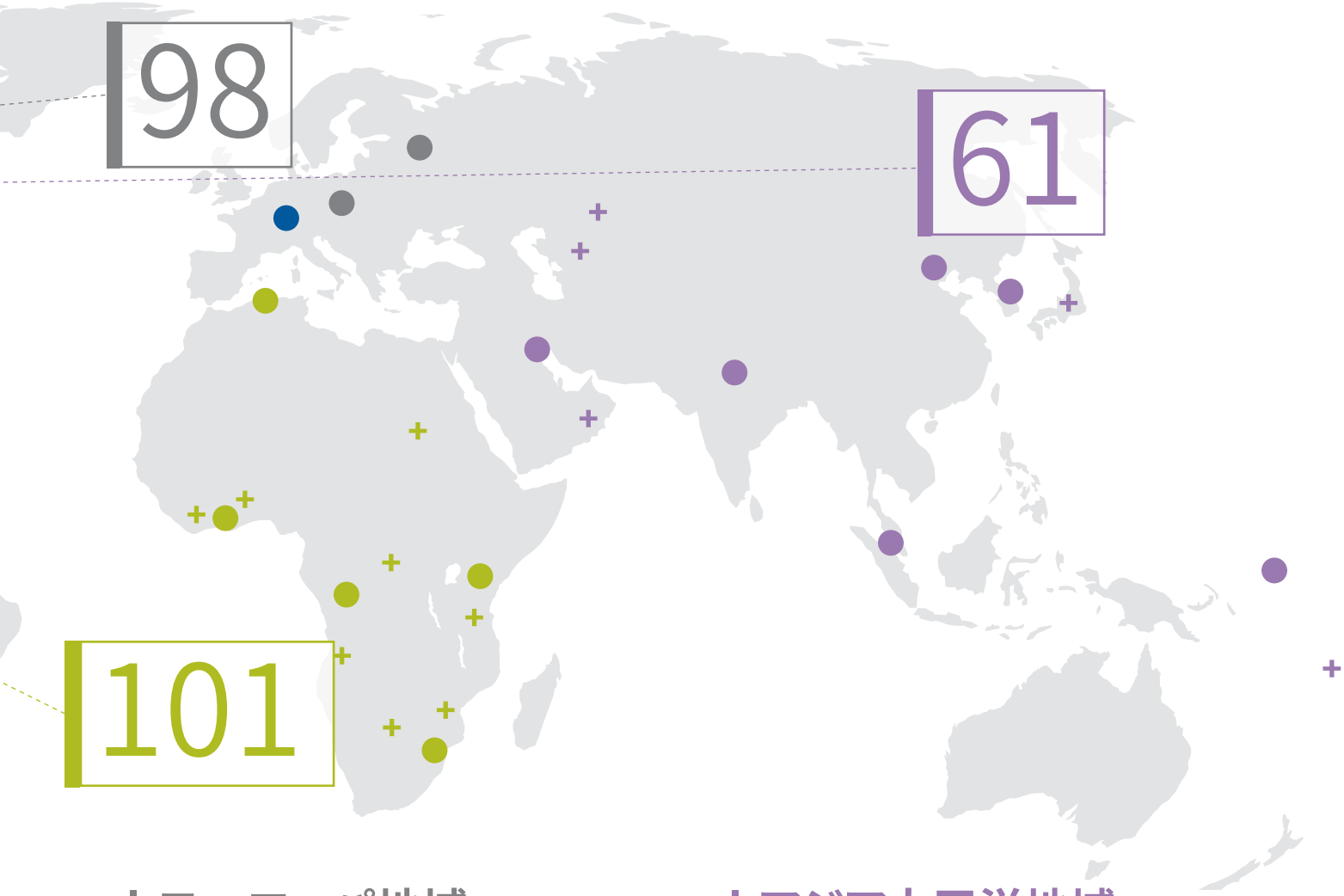
中央アフリカ連絡事務所
全国社会保障基金（National Social Security Fund）が活動拠点
コンゴ民主共和国（キンシャサ）

東アフリカフォーカルポイント
東中央アフリカ社会保険協会（East and Central Africa Social Security Association）
ケニア（ナイロビ）

北アフリカ連絡事務所
全国被用者社会保険基金（National Social Insurance Fund for Employees）が活動拠点
アルジェリア（アルジェ）

南アフリカ連絡事務所
エスワティニ国立共済基金（Eswatini National Provident Fund）が活動拠点
エスワティニ（マンジニ）

西アフリカ連絡事務所
全国社会保険基金（Social Insurance Institute National Social Insurance Fund）が活動拠点
コートジボワール（アビジャン）



ヨーロッパ地域

ISSA ヨーロッパネットワーク
社会保険機構（Social Insurance Institution）が活動拠点
ポーランド（ワルシャワ）

ユーラシア連絡事務所
ロシア連邦年金基金（Pension Fund of the Russian Federation）が活動拠点
ロシア連邦（モスクワ）

ISSA 事務局
スイス（ジュネーブ）

ISSA 地域組織

ISSA には世界中に 17 の地域組織があり、ISSA 加盟機関がその活動拠点となり、専門の連絡担当者が配置されています。■

- **30 億人** の加入者
- **6 兆ドル** の基金
- **300 万人** の被用者

アジア太平洋地域

アラブ諸国連絡事務所
社会保障公社（Social Security Corporation）が活動拠点
ヨルダン（アンマン）

東アジア連絡事務所
国民医療保険公団（National Health Insurance Service）が活動拠点
大韓民国（ソウル）

南アジア連絡事務所
被用者国家保険公社（Employees' State Insurance Corporation）が活動拠点
インド（ニューデリー）

東南アジア連絡事務所
社会保障機関（Social Security Organisation）が活動拠点
マレーシア（クアラルンプール）

中国加盟機関フォーカルポイント
人力資源・社会保障部社会保険庁（Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security）が活動拠点
中国（北京）

太平洋諸島国フォーカルポイント
フィジー国立共済基金（Fiji National Provident Fund）が活動拠点
フィジー（スバ）

+++ 2019/20 は 17 の会員が新規加入

インタビュー

ISSA への参加

国際社会保障協会（ISSA）は 2019 年以降、世界中から新たに 17 機関を会員として迎えたことを大変嬉しく思っています。
アルゼンチンの連邦社会保険協議会に、ISSA に加入した理由と ISSA 会員として期待することについてお聞きしました。

17
の新規加入会員
（2019 年以降）

ISSA に加入した理由は何でしょうか。
ISSA は社会保障に関する最も大きな国際組織です。ここで世界中の国で実施されている社会保障制度の経験を共有しインスピレーションを得ることができます。

ISSA が貴機関に提供できる最も重要な製品やサービスは何でしょうか。
技術委員会への参加、地域トレーニング、国際・地域イベント、そして地域の社会保障連携に参加する機会です。

これから ISSA と、ISSA の活動に対してどのように交流していく予定ですか。
協会への参加や交流、そして特に ISSA の地域コーディネーターとの継続的な交流をしていきたいです。

ISSA への加入を検討しているその他の社会保障機関へのメッセージはありますか。
加入を強くおすすめします。私たちは普遍的な社会保障を実現する使命があり、その使命を達成するには ISSA が主催するような国際フォーラムや永続的な国際対話を通じて取組を行うしかありません。■

新規加入した ISSA 会員

+ **国民社会保障院**（National Social Security Institute）
  アンゴラ
+ **連邦社会保障協議会**（Federal Social Security Council）
  アルゼンチン
+ **交通事故基金**（Motor Vehicle Accident Fund）
  ボツワナ
+ **コロンビア年金管理局**（Colombian Pension Administrator）
  コロンビア
+ **初等・中等教育・職業教育教職員健康共済組合**（Health Mutual Benefit Society of Primary, Secondary and Vocational Education Teachers）
  コンゴ民主共和国
+ **西アフリカ諸国中央銀行監督役員賦課方式退職基金**（Pay-as-you-go Retirement Fund of Supervisory Officers of the Central Bank of West African States）
  コートジボワール
+ **エクアドル社会保障院**（Ecuadorian Social Security Institute）
  エクアドル
+ **金融サービス監督局**（Financial Services Regulatory Authority）
  エスワティニ
+ **国民年金監督局**(National Pensions Regulatory Authority)
  ガーナ
+ **国民保険運営協議会**（National Insurance Board）
  グレナダ
+ **全国社会保険労務士会連合会**（Japan Federation of Labour and Social Security Attorney's Associations）
  日本
+ **社会健康保険基金**（Social Health Insurance Fund）、JSC
  カザフスタン
+ **防衛省年金基金**（Ministry of Defence Pension Fund）
  オマーン
+ **サモア全国積立基金**（Samoa National Provident Fund）
  サモア
+ **国民年金・社会保険基金**（National Pension and Social Insurance Fund）
  スーダン
+ **公務員社会保障基金**（Public Service Social Security Fund）
  タンザニア連合共和国
+ **雇用労働関係省**（Ministry of Employment and Labour Relations）
  ウズベキスタン

新規会員は 10 ～ 11 ページの地図上に表示されています。

ISSA 技術委員会

ナレッジとツールの向上

ISSA にある 13 の技術委員会は、加盟機関の 110 名以上のリーダーと上級専門家によって構成され、協会の活動実施に重要な役割を果たしています。

2017 年～ 2019 年の 3 年間に行われた活動の結果、技術委員会は数多くの高品質の報告書を出版し、WSSF の技術プログラムにも大きく貢献しました。技術委員会はまた、8 セットの ISSA ガイドラインの改訂と新規の『社会保障制度におけるエラー、回避、不正に関する ISSA ガイドライン』（14 ページ参照）の作成においてもリーダシップを発揮しました。

以下の報告書は WSSF に向けて、技術委員会によって作成されたものです。

技術委員会	報告書
保険料徴収・納付義務遵守	プラットフォームワーク―社会保障制度とのリンク
雇用政策・失業保険	プラットフォーム経済
家族給付	男女平等と家族政策：要因と影響 障がいのある子どものための幼児期の保育（L'accueil des enfants en situation de handicap dans les modes d'accueil du jeune enfant）
医療・疾病保険	老後の自立及び介護に関する技術レポート
情報通信技術	社会保障への新興技術適用
共済給付組合	普遍的社会的保護に対する共済給付政策の貢献
老齢・障害・遺族保険	増大するプラットフォームワーク – ISSA 加盟国の範囲、保険適用及び好取組事例 障害給付：退職年齢引き上げによる影響 年金における理論的な男女格差 運営情報とサービス施策に関する調査レポート 公的年金制度における労働参加奨励策：国際的なエビデンス
社会保障政策分析・研究	社会保障適用：中国、インド及びメキシコの場合 労働及び公的年金適用範囲の変化する本質について：アメリカ合衆国とヨーロッパからのエビデンス

その他の ISSA 技術委員会：

- 労災保険
- 社会保障基金の投資
- 組織・運営管理・革新
- 統計・数理・財政研究
- 予防特別委員会 ■

優れた社会保障運営支援センター

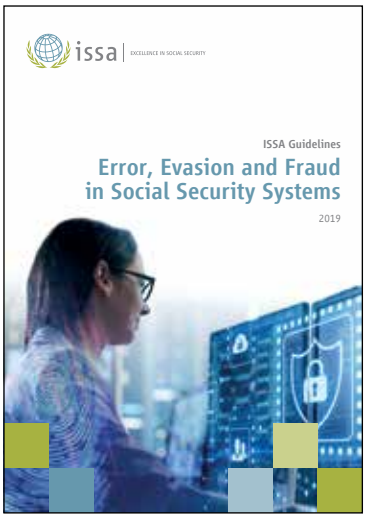
エラー、回避、不正への対策に関する新 ISSA ガイドライン

社会保障機関にとってエラー、回避及び不正はますます大きな関心事となっています。『社会保障制度におけるエラー、回避、不正に関する ISSA ガイドライン』は、これらの重要課題に取り組むために、2019 年 10 月の世界社会保障フォーラム（WSSF）で公表されました。

ガイドライン

社会保障機関は、国民、社会及び政治機関からの信頼の上に成り立っています。そのため、社会保障機関のエラー、回避及び不正を防ぎ、対応する能力は非常に重要です。社会保障機関にとってこれらの課題は今に始まったことではないものの、ISSA 加盟機関の経験は、より首尾一貫とした体系的な対応が必要であることを表しています。

新しく完成したエラー、回避、不正に関するガイドラインは ISSA 事務局と加盟機関の共同開発によって作成され、ISSA 保険料徴収・納付義務遵守技術委員会がプロジェクトをまとめてきました。さらに、フランスの社会保障中央庁（Acoss）から多大な支援を受け、スペインの社会保障出納院も本題について国際セミナーを開催しました。これらの支援のおかげで、新ガイドラインはベルギーのブリュッセルで開催された WSSF で公表され、好評を得ました。



ISSA ガイドラインの大幅な改訂

既存の 12 の ISSA ガイドラインのうち、8 セットが改訂され、WSSF で公表されました。社会保障機関は急速に変化する環境の中で運営を行っているため、ISSA ガイドラインの各セットは 6 年ごとに改訂されます。

今回の新バージョンでは、グッドガバナンス、情報通信技術（ICT）とサービスの質などのガイドラインに分野横断的な部門の視点を取り入れるなど、重要な改善が施されました。さらに、ICT に関するガイドラインには異なる社会保障部門を考慮した e- ヘルスや業務手順について述べられた特別な章も追加されました。

優れた社会保障支援センターの基礎

ISSA ガイドラインは優れた社会保障を提供するため、会員を支援する ISSA の優れた社会保障支援センターの土台になります。ガイドラインは ISSA アカデミーで能力構築のためのワークショップやディプロマ課程に使用され、ISSA グッドプラクティスによって補足され、ISSA 認証プログラムの基礎ともなっています。

ISSA アカデミーワークショップ

ピア・ツー・ピアで問題解決

ISSA アカデミーワークショップは幹部層のピア・ツー・ピア問題解決に有意義な機会となっています。2019 年には 69 か国から 338 名の参加者が 12 のアカデミーワークショップに参加しました。

この ISSA アカデミーワークショップはトリニダード・トバゴのポート・オブ・スペインにて 2019 年 7 月 24 日から 26 日に開催されました

アカデミーワークショップは社会保障における管理職や社会保障機関が実際直面する課題に基づいて開催されます。参加者には事前に自身が取り上げたい課題を提出することが求められ、ワークショップ専門家がそれらの課題に基づいたプログラムを作成します。関連する ISSA ガイドラインを使用し、実践的かつ効果的な解決につながる議論が展開されます。

2019 年 11 月、大韓民国のソウルで開催された ISSA アカデミーワークショップは一つの成功例です。ブータン、インド、インドネシア、日本、マレーシア、オマーン、ベトナム、そして主催国の大韓民国から参加した社会保障機関の専門家は、協力しながら社会保障におけるグッドガバナンスの課題に取り組みました。

「アカデミーワークショップは私個人と私が所属する組織にとって豊かな学びの場となりました。他国や他機関からの参加者との共通する課題や革新的な取組にかかる議論に加え、今後の仕事に必ず役に立つネットワークを築くことができました」（日本年金機構 長峯靖幸）。

2019 年以降開催された ISSA アカデミーのワークショップ

トピック	場所
社会保障の数理業務	ウルグアイ（モンテビデオ） インド（ニューデリー）
保険料徴収・納付義務遵守	アルジェリア（アルジェ） トリニダード・トバゴ（ポート・オブ・スペイン）
エラー、回避及び不正に対する取組	アルゼンチン（ブエノスアイレス）
適用拡大	マダガスカル（アンタナナリボ） アルゼンチン（ブエノスアイレス） トリニダード・トバゴ（ポート・オブ・スペイン）
グッドガバナンス	ベナン（コトヌー） シエラレオネ（フリータウン） モロッコ（マラケシュ） 大韓民国（ソウル）
職場のリスク予防	ヨルダン（アンマン） ガボン（リーブルヴィル）
情報通信技術	ウガンダ（カンパラ）
サービスの質	ナミビア（スワコプムント）

アカデミー

ISSA のディプロマ課程

スタッフの能力構築

この 1 年間で、世界中の ISSA 加盟機関から 200 名のスタッフが ISSA ディプロマ課程に参加し、能力向上に努めました。これらのコースは認定された教育機関の協力の下に運営されています。

2019 年、イタリアのトリノの ITCILO で開催された ISSA ガイドライン・トレーニングに世界中の社会保障機関から 90 名余の参加者が集まりました。以下は参加者の声です。

「とても充実した体験でした！」
—デヴォンテ・コーリー・ピーターズ

「私はこのコースを通じて、コミュニティの社会保障に貢献し、地域や国のお客さま支援ができるようになると思います。」

ライヤ・ハメド・サイフ・アル・ブスディ、
社会保険庁、オマーン
サービスの質

「社会保障機関が成功するには、サービスの質を過小評価できません。そのため、私にとって本コースは非常に重要です。私たちの仕事の礎です。」

エメファ・アノヨ
社会保障・国民保険信託、ガーナ
サービスの質

「私は参加によって、インフォーマルセクターへの社会保障拡大に活用できる技術をより深く理解することができました。」

ムクカ・カンワ
国民年金政策機構、ザンビア
情報通信技術

ISSA ガイドラインに基づいて作成されたディプロマ課程コースは、掘り下げた内容で国際的に認められた専門的基準に沿って、加盟機関のスタッフ能力開発を支援しています。2019年中盤からフランスの全国社会保障学校（EN3S）、ヨルダンのマハナ財団、イタリアの ILO 国際トレーニングセンター（ITCILO）で25 週間のコースが開催されています。さらに、ドイツ労災保険機関（IAG）の雇用と健康機構は、ディプロマ課程のプログラム評価で ISSA を支援してきました。すべてのトレーニング・パートナーは評価に貢献できるように招かれ、結果として ISSA はプログラムをさらに発展・充実させることができました。■

「このトレーニングを通じて、私たちは利害関係の衝突への対処法や、社会保障組織が目的を達成するための方法を学ぶことができました。」

ムンディハルノ・スマルノ・ヒズボエル、
医療保険実施機関、インドネシア
グッドガバナンス

「このコースに参加して、私は今後の投資機会に役立てることができる国際的なベストプラクティス、基準とガイドラインに対する理解と洞察力を得ることができました。」

ノールバーン・ファメイ、
モルディブ年金事務局、モルディブ
社会保障基金の投資

「社会保障の適用者数を拡大していくことができると思います。」

アルポン・ユパカンロッド、
社会保障事務所、タイ
適用拡大

「新しく得た知識と情報で、母国でより質の高い社会保障を提供することができるかと思います。」

* デヴォンテ・コーリー・ピーターズ
国民保険サービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島
保険料徴収・納付義務遵守

ISSA 認証

組織の信用を築き上げる

ISSA 認証プログラムへの関心は急激に高まる一方です。このプログラムは、社会保障機関が国際的なベストプラクティスに沿った業務手順を保障し、優れた運営に対する取組を実証するための独自の方法です。組織の外部及び内部からの信頼を高めます。

認証

2019 年 10 月の WSSF では、4 大陸から 7 の ISSA 加盟機関が 6 部門での ISSA ガイドライン実践成功例として ISSA 優良賞を受賞しました。

- **労働社会保障実施機関（BPJS Ketenagakerjaan）、インドネシア**：情報通信技術；職場復帰と再統合
- **雇用・社会保護省（Department of Employment Affairs and Social Protection）、アイルランド**：サービスの質
- **社会保障公社（Social Security Corporation）、ヨルダン**：予防
- **社会保障機関（Social Security Organisation）（PERKESO）、マレーシア**：保険料徴収・納付義務遵守
- **モロッコ年金基金（Pension Fund of Morocco）（CMR）**：グッドガバナンス
- **ロシア連邦社会保険基金（Social Insurance Fund of the Russian Federation）**：職場復帰と再統合
- **銀行職員年金基金（Bank Employees' Pension Fund）（CJPB）、ウルグアイ**：保険料徴収・納付義務遵守

さらに、2019 年にはその他 3 機関が ISSA 認証を受けました：

- **労働安全保険委員会（Workplace Safety and Insurance Board）（WSIB）、カナダ（オンタリオ）**：職場復帰と再統合
- **安全共済 CChC（Mutual for Safety CChC）、チリ**：グッドガバナンス
- **国家社会保険基金（National Social Insurance Fund）、カメルーン**：グッドガバナンス ■

ISSA 認証プログラムに参加する理由

アイルランドの雇用・社会保護省のジョン・マッキオン事務局長は ISSA ガイドラインの実践と ISSA 認証プログラム参加について、3 つの主な理由を述べました。

1. **マネージメントと良いプロセス**の基本に立ち戻ることができます。
2. 自己満足に陥ることを防ぎ**お客さまとサービス**に注力するよう仕向けます。
3. **スタッフやマネージャー**と関わり合う仕組みとなっています。

メンバー体験

優れた職場復帰と再統合

カナダのオンタリオにある労働安全保険委員会（WSIB）は職場復帰と再統合の ISSA 認証プログラムを修了する最初の組織となりました。

ISSA 認証プログラムは WSIB にとって職場復帰と再統合の手順評価と改善を行う機会となり、特に『職場復帰と再統合の ISSA ガイドライン』などの国際基準に適合していることを確認することができました。

ISSA 会長のヨアヒム・ブロイアー教授・博士は、2019 年 10 月 23 日に開催されたカナダ障害者管理専門家協会会議で WSIB に優良賞を授与しました。

良い結果と高いモチベーション

WSIB は先頭を切って労災や病気の後に安全かつ長期的な仕事への速やかな復帰を支援している、とヨアヒム・ブロイアー会長は評価しました。「彼らの革新的かつ連携のとれたアプローチはまさに ISSA 優良賞に値します。」とブロイヤー会長は語りました。

WSIB は人々の復職支援のために賃金喪失給付や医療保障と支援を提供しています。企業の協賛によって支えられている WSIB は無過失団体賠償責任保険や各業界に特化した安全衛生情報も提供しています。オンタリオ州の 300,000 の職場で 500 万人以上の保険適用者を抱える WSIB は北米で最も大規模な保険機構の一つです。 ■

issa

Certificate
of Excellence

AWARDED TO:

Workplace Safety and Insurance Board
Canada

For the successful application of the
ISSA Guidelines on
Return to Work and Reintegration

Dr Joachim Breuer
President

Marcelo Abi-Ramia Caetano
Secretary General

issa

Return to Work
and Reintegration
2019

新たな 3 年間

世界の社会保障が直面する 10 の課題から

2016 年から 2019 年の間に ISSA は、世界の社会保障が直面する 10 の課題の特定と分析を行う画期的な研究を実施しました。世界中の社会保障専門家の知見と経験に基づいた研究は、これまでにない取組でした。

このプロジェクトは、2016 年にパナマで開催された世界社会保障フォーラム（WSSF）で発表された最初のレポートで始まり、その後は南北アメリカ（2017 年）、アフリカ（2018 年）、アジア太平洋（2018 年）、ヨーロッパ（2019 年）の 4 つの地域レポートが発表され、各レポートには地域ごとの課題ランキングが報告されていました。そして、2019 年のベルギーで開催された WSSF では新しいグローバルレポートが作成され、ISSA 加盟機関による革新的なソリューションやベストプラクティスが取り上げられました。

地域別 10 の課題

	アフリカ地域	南北アメリカ地域	アジア太平洋地域	ヨーロッパ地域
1	適用格差の縮小	人口高齢化	適用格差の縮小	労働市場とデジタルエコノミー
2	高まる国民の期待	保健と介護	保健と介護	人口高齢化
3	保健と介護	適用格差の縮小	技術の進展	技術の進展
4	若年労働者の雇用	技術の進展	高まる国民の期待	保健と介護
5	ライフコースにおける不平等	若年労働者の雇用	人口高齢化	ライフコースにおける不平等
6	技術の進展	ライフコースにおける不平等	労働市場とデジタルエコノミー	高まる国民の期待
7	労働市場とデジタルエコノミー	高まる国民の期待	若年労働者の雇用	適用格差の縮小
8	大きなリスクとなる事象	労働市場とデジタルエコノミー	ライフコースにおける不平等	若年労働者の雇用
9	人口高齢化	大きなリスクとなる事象	大きなリスクとなる事象	移民労働者の保護
10	移民労働者の保護	移民労働者の保護	移民労働者の保護	大きなリスクとなる事象

4 つの優先項目へ

この新しい知識を基に本質を抽出し、2020 年から 2022 年の間、ISSA は来る 10 年で社会保障が取り組むべき 4 つの重要課題に注力します。下記のイラストは世界の社会保険が直面する 10 の課題の地域別ランキング、そしてそれらがどのようにこれからの 3 年で ISSA の焦点となる 4 つの重要課題につながったかを表しています。■

4 つの優先項目

これらは 2020 年から 2022 年の 3 年間、優先される 4 つの重要課題へと移行します。

1. 社会保障運営と管理の未来
2. 高齢化社会の高まるニーズへの対応
3. 変化する世界の中での社会保障適用
4. 包括的成長と社会連帯を推進する社会保障の役割

VISION ZERO

予防で大きく前進

VISION ZERO
Safety.Health.Wellbeing.

ISSA 予防特別委員会に率いられ、職場での安全、健康とウェルビーイングを推進する Vision Zero（VZ）キャンペーンは ISSA 会員による大きな支援に支えられ力強い成長を続けています。昨年は以下のようなハイライトがありました。

11,000
の組織、企業、労働安全衛生指導者（OSH）が Vision Zero キャンペーンに登録しました。

2019 年 7 月

- 大韓民国：韓国の労働安全衛生週間に VZ キャンペーンが行われました。
- マレーシア：社会保障機関（PERKESO）は VZ の全国会議を主催しました。
- ISSA の農業における予防部門が農業従事者のための VZ ガイドを発表しました。

2019 年 9 月

- コートジボワール社会保険機構－全国社会保険基金（CNPS）は予防担当者のための VZ トレーニングを開催しました。
- ISSA の予防部門（鉱業）：VZ に焦点を当てた 50 周年記念イベントが開催されました。

2019 年 11 月

- ISSA 会議：ドイツの A+A2019 で「Vision Zero- 予防のためのイノベーション」が開催されました。
- フィンランド労働衛生研究所主催の「Vision Zero サミット」が開催されました。

2019 年 12 月

- ポーランド農業社会保険基金主催による VZ 青少年映画コンクール。
- パキスタン、パンジャブでの労働・人的資源大臣の支援を受けた VZ キャンペーン。

2020 年 1 月

- 2020 年労働安全衛生世界会議で 400 以上の VZ 概要が提出されました。
- チリの安全共済 CChC が Vision Zero アプリを更新。

2020 年 3 月

- Vision Zero のプロトタイプ指標が科学研究チームによって結論づけられました。

2020 年 6 月

- スペイン語圏で VZ を推進する、PLR イノベーションによる予防会議が開催されました。
- インド：12,000 の個人と企業に焦点を当てた印独フォーカルポイントによる VZ キャンペーンが開催されました。 ■

#VisionZeroGlobal
www.visionzeroglobal.com

国際労働機関の訪問研修生を招いて韓国労働安全衛生公団で Vision Zero が発足されました。

ナレッジとリソース

新ウェブサイト

ISSA はユーザーエクスペリエンスや ISSA 製品とサービスへのアクセスを改善するため、新しいウェブサイトを展開し続けています。この 1 年間で、ISSA は、オンラインモニター「コロナウイルス - 社会保障施策」に加え、技術委員会、ISSA 地域組織、並びに ISSA 出版物及び情報源のための優れた社会保障支援センターとその製品の新しいウェブセクションを立ち上げました。ISSA の製品やサービスへのアクセスは ISSA 会員に限定されます。オンライン特典は以下の通りです。

- すべての主要な ISSA 製品とサービスへの容易なアクセス
- 関心とニーズに合わせたログイン・コンテンツ
- 各課題に対する ISSA のナレッジへのアクセス及びフィルタリング
- ISSA 事務局への容易な問い合わせ
- モバイルとタブレット対応

www.issa.int

国際社会保障レビュー

1948年に創刊された『国際社会保障レビュー』（ISSR）は、世界でも主要な社会保障分野における刊行物で、四半期ごとに出版されます。2019/2020 年に発行された 4 冊のうち、1 冊の特別号は ISSA プログラムの優先項目で主要な課題を特集しました。

2019 年の特別号（72 巻、3 号）『社会保障とデジタル経済』はブリュッセルで開催した世界社会保障フォーラムで行われた議論に合わせて作成されました。その内容は、デジタル経済へと移行する中で、労働市場、労働者やその家族の経済的安定への重大な影響を含む、社会保障が受ける影響をいくつかの視点から取り上げたものでした。この流れによって ISSA 加盟機関は、持続可能かつ十分な資金調達が保証された社会保障制度と、社会保障給付とサービスの適切な設計に関する革新的な対策が求められています。

ISSA メンバーは My ISSA を利用していつでも ISSR にアクセスできます。

www.issa.int/review

ISSA カントリープロファイル

ISSA ウェブサイトでは、184 の国と地域における社会保障制度とプログラム概要が閲覧・比較できます。6 か月ごとにアフリカ、南北アメリカ、アジア太平洋、ヨーロッパのいずれかの地域データが順次更新され、その地域の社会保障プログラムの概要が報告されます。

www.issa.int/country-profiles

社会保障のグッドプラクティス

ISSA グッドプラクティスのデータベースには ISSA 加盟機関からの 900 以上のグッドプラクティスが登録されています。これらグッドプラクティスの明確化と共有は、社会保障機関運営・管理の有効性と効率性の改善をサポートします。グッドプラクティスは分類されており、地域、国、トピック及び実施年で絞り込みが可能です。このデータベースは、知識と経験を集約した貴重なソースとして、ISSA 加盟機関のインスピレーション及び指南となります。

www.issa.int/good-practices

ISSA

ISSA 選挙

2019 年 10 月の世界社会保障フォーラムに関連して、2020 年から 2022 年における ISSA 執行幹部等選出のための重要な選挙が行われました。

会長

- ドイツ労災保険機関（DGUV）の元理事長であり、現在同機関の国際関係大使を務めるヨアヒム・ブロイアー教授・博士が会長に再選されました（初当選は 2016 年）。

副会長

- ナミビアの社会保障委員会（SSC）で執行役員を務めるミルカ・ムングンダが副会長に再選されました（初当選は 2018 年）。

会計役

- ロシア連邦年金基金の取締役会副会長を務めるニコライ・コズロフ氏が会計役に再選されました（初当選は 2016 年）。

監査委員会

- ベルギーの補足的失業給付基金の総局長を務めるジャンマルク・ヴァンデンバーグ氏は監査役に再選され、監査委員会の議長に任命されました。
- コートジボワールの社会保険機構 – 全国社会保険基金（CNPS）のパトリシア・コイザン・バニ氏は正監査委員に再選されました。
- ポーランド社会保険機構（ZUS）のパウエル・ジャロスゼック氏が正監査委員に再選されました。
- ドイツ年金保険機関のファビアン・ピルゼッカー氏が副監査委員に選出されました。

ISSA 役員会で行われた副会長選挙を除き、選挙はすべて ISSA 評議員会で行われました。

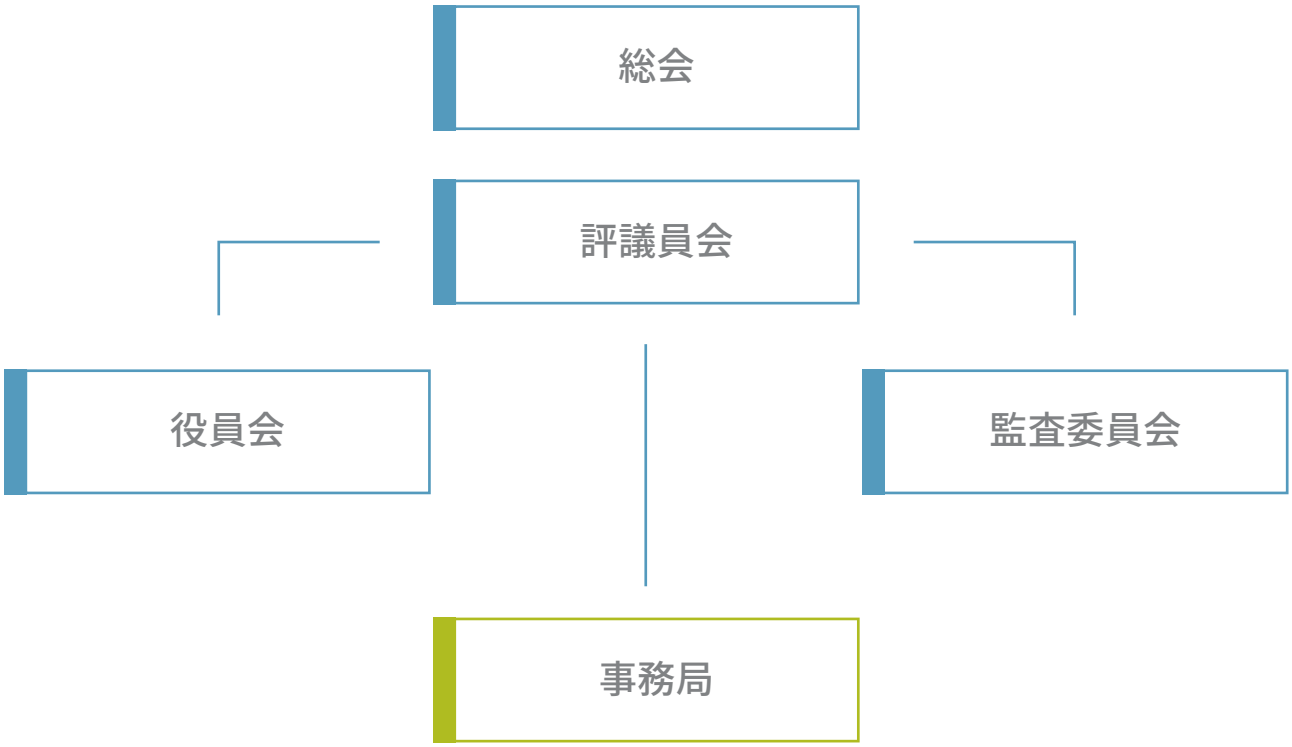
「協会をさらに発展させ、強化していくことが私の今期の抱負です。新しい国から新しい会員を迎え、世界の社会保障を先導する声になりたいと思っています。」

— ISSA 会長
ヨアヒム・ブロイアー

ISSA

組織体制とガバナンス

ISSA のガバナンスと技術的な業務はすべて会員の貢献と専門的知見によって成り立っています。ISSA 事務局は 42 名のスタッフと加盟機関からの複数の派遣スタッフで構成されています。



執行幹部

会長 ヨアヒム・ブロイアー	*副会長* ミルカ・ムングンダ	*事務総長* マルセロ・ アビハミア・カエタノ	*会計役* ニコライ・コズロフ

Excellence in social security
Excellence en sécurité sociale
Excelencia en la seguridad social
Excelência em seguridade social
Exzellenz in der sozialen Sicherheit
Высокие стандарты управления в социальном обеспечении
التميّز في الضمان الإجتماعي
卓越的社会保障

ISSA 事務局
Route des Morillons 4
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17
F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

www.issa.int

PERFORMANCE myclimate neutral Imprimé XXXXXX myclimate.org